

## 令和6年度 経営発達支援計画 実績報告

当所の経営発達支援計画にかかる評価委員会を下記の通り開催いたしました。  
評価委員3名の方へ事業内容および実績を報告し、評価と意見をいただきました。

日 時：令和7年10月7日（火）10：00～11：30

場 所：当所2階常議員会室

委 員：南山 賢悟 様（中小企業診断士）  
富森 正喜 様（日本政策金融公庫彦根支店長）  
橋本 邦彦 様（彦根市産業部次長兼地域経済振興課課長）

- 各種外部データの活用が進んでいる一方、必要な事業者を見通した効率的なリソース配分が今後さらに重要となる。データを支援の質向上に活かし、分析結果を重点支援やフォローに結びつけていただきたい。
- 展示会出展やプレスリリースへの参加確保が継続しており、毎年異なる事業者が参画している点は特筆に値する。効果が短期間で見えにくい取り組みだからこそ、継続実施と成果把握の工夫を進めていただきたい。
- 売上増加事業者へのフォローは課題であり、決算書提出が難しい場合でもヒアリングを通じた状況把握が可能とされている。フォローを伴走支援へ発展させ、評価指標に現れにくい部分まで丁寧に支えていただきたい。
- 地域資源や大学との連携を活かした“彦根らしさ”のある支援企画が期待され、事業者の利益増加に繋がる内容の強化が求められている。他地域では実現しにくい独自性のある支援内容を今後も展開していただきたい。
- 少人数の職員による広範な事業運営の中、複数職員や他支援機関との連携が不可欠となっている。地域発展に向けて連携体制を一層強化し、多面的な支援へと発展させていただきたい。
- あらゆる事業に一所懸命に取り組んでいただいている。少人数での事業実施は苦労されていると思うが、経営状況が芳しくない事業所には経営指導員をはじめ全職員による面的支援に繋げていただきたい。

以上